

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成25年11月28日(2013.11.28)

【公表番号】特表2013-511037(P2013-511037A)

【公表日】平成25年3月28日(2013.3.28)

【年通号数】公開・登録公報2013-015

【出願番号】特願2012-538422(P2012-538422)

【国際特許分類】

G 01 V 1/16 (2006.01)

G 01 V 1/40 (2006.01)

【F I】

G 01 V 1/16

G 01 V 1/40

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月9日(2013.10.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ハイドロフォンの加速度相殺特性を測定する装置であつて、  
振動源と、

前記振動源に接続され、流体媒体を収容する圧力容器と、  
前記圧力容器内に取り付けられたハイドロフォンと、

前記振動源が作動し、かつ前記圧力容器が圧力下にある間に、前記ハイドロフォンの加速度相殺測定データを収集するために前記ハイドロフォンと通信可能に接続される、プロセッサと、を備える、装置。

【請求項2】

前記プロセッサと通信可能に接続する標準ハイドロフォンを更に備える、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記振動源は振動台を備える、請求項1に記載の装置。

【請求項4】

前記圧力容器は、振動方向が前記ハイドロフォンの取付方向と垂直となるように取り付けられる、請求項1に記載の装置。

【請求項5】

前記圧力容器外部において前記振動源に取り付けられた標準加速度計を更に備える、請求項1に記載の装置。

【請求項6】

ハイドロフォンの少なくとも1つのパラメータを測定する方法であつて、  
振動源を起動することと、

ハイドロフォンを収容する、流体で満たされた容器を加圧することと、

前記振動源が前記圧力容器を動かしている間に前記ハイドロフォンのパラメータを測定することと、を含む、方法。

【請求項7】

パラメータを測定することは、ハイドロフォンの加速度相殺特性を測定することを含む

、請求項6に記載の方法。

【請求項8】

加速度計を用いて、前記振動源の加速度を測定することと、前記加速度計の測定値及び前記ハイドロフォンのパラメータの測定値を利用することによって、前記ハイドロフォンの絶対的な加速度を算出することとを更に含む、請求項6に記載の方法。

【請求項9】

前記流体で満たされた容器内に、標準ハイドロフォンを配置することを更に含む、請求項6に記載の方法。

【請求項10】

評価するハイドロフォンを選択することと、  
前記ハイドロフォンの絶対的な加速度相殺値を決定することと、  
前記絶対的な加速度相殺値の標識を提供することと、を含む、方法。

【請求項11】

決定することは、圧力容器内に前記ハイドロフォンを配置することと、前記ハイドロフォンを振動させることと、前記ハイドロフォンを振動させている間に、プロセッサベースのシステムを利用して、前記ハイドロフォンの加速度相殺測定データを収集及び処理することとを含む、請求項10に記載の方法。

【請求項12】

決定することは、前記ハイドロフォンと共に振動する加速度計から得た加速度計データを処理することを更に含む、請求項11に記載の方法。